

令和 4 年度 墨田区立八広小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 1 5 日

学 校 目 標	やさしい心 ひろがる学び のびのび育つ やひろの子
目 指 す 学 校 像	「八広小で学んでよかった」と、子供たちが言える学校 ○ 確かな学力を育てる学校 ○ 思いやりの心を育てる学校 ○ 体力の向上を目指す学校 ○ 特色ある教育活動を進め、地域に貢献できる学校
目 指 す 子 供 像	人権感覚鋭く、たくましく、賢く、人間関係豊か、明るく素直、表現力豊か
目 指 す 教 師 像	子供たちのために奉仕し子供たちとともに喜びをもつ教師 ○ 自らの授業力を高め、教科の基礎・基本の内容の理解と定着を図り、自ら学ぶ意欲や思考力・表現力を育てる教師 ○ 規律正しい指導を行い、人間尊重の精神と思いやりの心を育てる教師 ○ 体力を高める教育活動を推進する教師 ○ 子供や保護者、地域の願いに応える教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	子供たちの学習意欲を向上させるとともに、ICT 機器や教具を活用し「分かる」「できる」授業を展開する。若手教員が授業を数多く参観して学ぶ機会を増やし、授業の充実を図る。	B	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	特別支援コーディネーターを中心に校内委員会を活用し、組織として、個別の指導計画を見直し、適切な支援を行っていく。	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	地域の教育力を生かして進路指導を充実させる。また、都の事業を活用しアスリートや俳優を招くなど児童の興味・関心を高める企画を立て、将来の自立に向けた進路指導に取り組む。	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	指導教諭の模範授業の参観をはじめ、相互の授業参観を行う。OJT 研修を充実させ、先輩教員のよい指導を校内で伝達し、指導力向上に生かす。	B	B
	学校は、子供の体力の向上等に取り組んでいるか。	B	体力テストで子供の体力を把握し、授業に生かす。一学級一取組、なわとび集会などを通じて日常の体育活動を活性化させる。	A	B
	学校関係者評価委員会の意見等	調査結果では学力が概ね向上傾向にあるが、学年により差があり、各教科や観点別の結果に課題がある。全学年・全観点、全国平均以上を目指すなど、目標を明確に定めて取り組んでいるのは評価できる。朝学習の充実、家庭学習習慣の設定等の基礎や基本の学力の定着に向けて組織的に取り組んでほしい。また、一人一台のタブレット活用促進をお願いしたい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	児童の問題行動の予防に努め、児童同士の問題が生じたときには、迅速に対応し、家庭、スクールカウンセラーと連携して解決に向けて組織的に取り組んでいく。	B	B
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	「あいさつのあふれる学校にする」という目標のもと、挨拶運動等に全校で取り組み成果をあげることができた。基本的な生活習慣の必要性を保護者と共に児童に指導し、心の教育の充実を図る。いじめ防止基本方針に則り、人権教育を通していじめを許さない心を育成していく。	B	A

様式 4

	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	交通事故防止、薬物乱用防止教室等に、警察官や薬剤師などのゲストティチャーを招き、心に響く授業を行うなど、今後も、適切で効果的な指導を行っていく。	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	保護者アンケートを、児童アンケート、教員アンケートと同様の項目で取り、内容を比較することで課題を把握し、学校の取組を充実させる。また、各行事において保護者からの意見や要望を把握し、適切に応えると共に、子供からの学校評価を教育計画に反映させていく。	A	B
	学校は、教育相談体制の確立等を図っているか。	B	スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーター、養護教諭が中心となり、相談体制を継続し、今後とも適切に保護者の要望に応じていく。	A	B
	学校関係者評価委員会の意見等	長年課題となっていた挨拶については、全校で取り組んだ結果、校内や地域で明るく元気な挨拶ができていようになったのは大きな成果である。引き続き、範例・徹底・継続できるよう挨拶運動等に取り組むとともに、交通安全、不審者対応、SNSのルール、薬物乱用防止など生活指導上の課題については指導し、児童の健全育成を推進してほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	学年や各校務分掌での報告・連絡・相談を徹底し、児童のために、日々の教育活動の工夫・改善を行う。その際には、学校経営方針に立ち戻り、学校評価を生かしていく。	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	学校の子供に合わせた管理運営に関しては、具体的な目標を設定し、随時評価を取り入れ、指導と評価、計画と実績の一体化を図る。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	ICT を効果的に活用した授業を行うための教室環境を整備し、積極的に利用していく。また、教室環境では、換気、採光、備品、掲示物を随時整備していく。	B	A
	学校は施設・設備開放の推進等を進めているか。	B	コロナ収束後は、平日、土日ともに、地域の団体に広く学校施設を開放し、地域の活性化に協力していく。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	校長の学校経営方針が、教職員に浸透して、学校の課題に対して全校体制で取り組んでいることが感じられる。学力調査の結果をもとに、児童の実態を把握し、学年に応じて必要な手立てを講じて、取り組んでいる。校内施設の環境も整い、安全面も配慮されている。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	A	毎日のホームページ更新、学校だより、学年だより等で教育方針、教育活動などを伝えている。今後、さらに活用を推進し内容を深化させていく。	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	保護者、地域とさらに連携し、PTA や育成委員会主催のイベントや地域駅伝大会等に積極的に参加するように呼びかけた。税務署絵葉書コンクール等への参加も奨励していく。	A	B
	学校は、ボランティア、地域の社会貢献活動の充実等に取り組んでいるか。	C	幼保小中連携の取組を推進し、吾嬢二中と連携して中学校の授業体験や研修を行った。ユニセフ募金に取り組んだりした。今後も活動を継続していく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	毎月の学校だよりには、校長の教育方針や学校行事等の内容が掲載され学校の教育方針及び教育活動がよく理解できる。学校のホームページはほぼ毎日更新されているが、学校評価を見ると、保護者に周知されていないのが残念である。もっと、学校の取組をアピールしてもよいのではないかと感じる。			

様式 4

2 令和 4 年度学校評価のまとめ

各学年の学力の状況については、区学力調査結果を見ると概ね各学年・各教科の観点別の結果は向上している。しかし、学年によっては各教科の結果が全国平均値を下回り、大きな課題となっている。また、児童の学力の状況についてはいわゆる「二極化傾向」が見られ、適切な指導の在り方が問われている。教員は、日々の授業改善に努め、児童が既習内容を生かして自力解決する能力を高めさせていく必要がある。また、「振り返りシート」、個別の放課後補充教室、夏休み補充教室、チャレンジ教室などを利用して基礎・基本の学力の定着を図るとともに、特に下位児童の学力引き上げに力を入れ、「分かる」「できる」喜びをどの児童にも体験させ、全学年・各教科の観点別平均正答率を全国平均以上とすることを目標として取り組む。

生活指導面では「あいさつがあふれる学校」を目指し、「自分から先に挨拶」を目標に「挨拶パワーアップキャンペーン」「挨拶運動」「挨拶ポイントカード」等に全校で取り組み、成果をあげた。次年度以降も、継続して元気に挨拶ができるよう、児童の意識を高める取り組みを行っていく。また、いじめ防止の指導、万引き防止指導、SNS 学校ルールの指導などは、継続していく必要がある。不登校児童も年々増加傾向にある。不登校の早期発見・対応と家庭へのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を活用したさらなる支援を行っていく。

学校の管理運営については、校務分掌の再編成を行い、次年度から「経営支援部」を設置する。より円滑に組織的な運営を行い、迅速かつ適切に対応できるようにしていく。また、校内 OJT による若手教員の育成を充実させる。具体的な管理運営に関する目標を設定し、定期的な評価を生かして改善を図っていく。

家庭・地域連携については、学校公開期間を年 2 回（1 週間程度）設定、学校行事においては積極的に降下するなど、開かれた学校づくりに努める。ホームページ更新を毎日行うなど、学校としての教育情報発信の努力が見られたという評価をいただいた。今後とも学校評価や保護者アンケート等を実施し、保護者・地域の声に耳を傾け、学校、地域、保護者が一体となった学校づくりを目指していく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立八広小学校 校長 勝田 光徳

公印